

『一生懸命』幻の新座市議会報告第153弾!



たかむらともや

2017年10月8日発行

③ 総選挙を考える

そもそも、今回の解散総選挙は何のために行われたのか考える必要があります。勿論、正解は「今なら勝てる」「勝てば森友も加計もごまかせられる」そうすれば「憲法改正もできる」という安倍晋三の判断です。国民の生活を豊かにする為に行うのではなく、自分たちの権力を維持するために行うのが今回の選挙と見ていいでしょう。

この埼玉4区からは5人の候補者がでます。

1. 自民党公認の穂坂さん。
2. 維新の党公認の青柳さん。
3. 無所属の豊田さん。
4. 希望の党の吉田さん。
5. 共産党の朝賀さん。

僕の駅立ちの師匠でもある吉田さんが、立憲民主党からではなく、希望の党から出馬することが残念でなりません。「市民と野党連合」から出馬すれば思い切り応援できたからです。

吉田さんと朝賀さんが分裂してしまったことが残念でなりません。4区の結果はどうなるのでしょうか。



上の写真は実の息子のような存在の紀(のり)と実の娘のような存在の茜とのスリーショットです。

彼らが中学生だったときと変わらない関係が今も続いていることが幸せです。

二人の子ども達の為にも、日本の政治をよくしていかなければなりません。平和な日本を維持していかなければなりません。There never was a good war or bad peaceです。



駅立ちの一番の楽しみは教え子達と会えることです。ひばりヶ丘北口の駅立ちで、久しぶりに塾の教え子に会えました。4月から社会人ですって!! ③

たかやんのプロフィール



昭和29年2月11日、港区青山で誕生。新宿区百人町で13歳まで過ごすが、典型的な悪ガキでガキ大将だった。西戸山中に入学するも1学期はバスケット部、2学期はバレー部、3学期はテニス部と落ち着きのないこと

甚だしかった。北大に進学後、突然「教師」を目指し奇跡的に採用され、52年、新設の新座五中に赴任。2年目から「一生懸命」という学級通信を発行する。後半の11年間は年間244弾ペースで発行する。

好きな言葉は「一生懸命」「経世済民」「明眸皓齒」好きな政治家は田中角栄、ホセ・ムヒカ、バーニー・サンダース。大っ嫌いなのは弱いものいじめをする、いつ見ても人相の悪い政治家達。

教え子の一言で駅立ちをはじめ12年の月日がながれた。現在はひばりヶ丘北口、東久留米東口、保谷駅北口、新座駅南口、志木駅南口、清瀬駅南口、清瀬駅北口の7カ所で駅立ちをしている。

写真は二中最後の教え子でもあり、たかやん塾の卒業生でもある文とのツーショット。 ③

たかやんの応援団 で 検索

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

🧐 最近思うこと

人生の残り時間が少なくなってきたこの頃、思うことがあります。それは、生きている残り時間をなるべく幸せな気持ちで過ごしたいということです。いくら稼いでも、いくら素敵な女性と家庭を築いても、子ども達に恵まれても、幸せを感じる時間が少なければ意味はありません。

寒い日の駅立ちは辛いです。でも、歌を歌いながら立てば、幸せを感じられます。

100人連続でスルーされるのは辛いです。でもその後に「一生懸命」を手にしてくれる方には感謝の気持ちで一杯になるのです。自分を認めてくれている全ての人に感謝したい、そう思っています。そして、残された毎日をどれだけ幸せな気持ちで生きていくか・それが大切だと思うようになったのです。

その気持ちと真逆なのが「不安」「怒り」「嫉み」などのマイナス感情です。マイナス感情のストレスから逃れるにはちょっとした技術が必要です。その技術を子ども達に伝えていきたい。そう思っています。

虐めで学校に行けない子ども達、親から愛されず不安と決別できない子ども達に「大丈夫だよ」と言いたいです。

一度きりの人生、「不安」「怒り」「嫉み」と仲良くしてはいけないのです。



我が家に遊びに来てくれた大樹先生です。僕のテニスの教え子達の後輩なのですが、僕のテニスの先生なのです。僕は自分の年齢の半分にも満たない若者にテニスを習っています。大樹先生には僕にはない技術があり、理論があるのです。

大樹先生に学ぶことが出来る生徒は幸せです。僕の人生にはテニスの先生が何人かいます。

西戸山中学時代の白浜先生。石神井高校時代の古川先生。松岡修造の師匠でもある飯田藍先生。

そしてこの大樹先生です。大樹先生は世界中を飛び回っています。女子プロを中心にコーチをしているのです。若いけれど、魅力のある先生に巡り会えたことを幸せに思うのです。

🧐 ツーショット

今回の駅立ちでのツーショットを公開します。これだから、駅立ちは楽しいのです。幸せな気持ちになれるのです。

駅立ちは確かに辛いこともあります。朝から文句を言われることもあります。それでも駅に立ち続けるのは、応援してくれた方達への感謝の気持ちが強いからです。選挙前の駅立ちではなく、選挙後の駅立ちにこそ意味があるのだと思います。来月も頑張ります！・



保谷駅北口で石神井高の同級生とのツーショットです。彼は超有名都立高校の先生です。二人とも高校時代は間違いなく馬鹿だったのですが・・俺たちが「先生」になってしまった訳で・・・

五中テニス部の一早です。五中の軟式テニス部を硬式テニス部に変えた時の中学生です。

彼らのお陰で、五中・六中の子ども達は硬式テニスが出来るようになったのです。



六中テニス部の太陽です。殆ど息子と変わりません。

実は太陽の家で「たかやん塾」はスタートしました。太陽は僕の塾の1期生であり、大樹先生の先輩でもあります。

五中4期生の純一は軟式テニスでした。

保谷駅北口で毎回、僕を励ましたくれます。

新座市民ではありませんが、応援してくれているのです。うぶには感謝感謝です。



六中テニス部のエースだったゆかです。東久留米東口で久しぶりに再会しました。駅立ちの楽しみは教え子達と再会できることです。今回も実に幸せな駅立ちでした。

読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください m(_ _)m